

市議会だより

にぎわう
まちの玄関口

★Contents★

- 2 議案をチェック
- 4 議案の審議結果
- 5 一般質問
- 12 研修・視察レポート
- 15 朝日大学との意見交換会
- 16 “にぎわう”みずほの
玄関口・JR穂積駅

令和4年第4回定例会 (11月30日～12月21日)

瑞穂市個人情報保護法施行条例の制定
令和4年度瑞穂市一般会計補正予算など18議案を可決

個人情報の保護

デジタル社会の形成を図る

個人情報保護条例制度の見直し

個人情報保護制度が見直され、全国的な共通ルールとして地方公共団体にも個人情報保護法など法律の一元化がされるため、関係する条例の制定を行います。

【議案第66号から第68号 条例の制定】

Q 現行の個人情報保護条例では、開示請求があった日から起算して15日以内に開示するかを決定することとなっているが、今回の条例の施行により30日以内となり、請求者にとっては不利益となるのではないかと。

A 期間を満たすまで待たせることなく、迅速に開示手続きを進めたい。

Q 民間事業者が利用できる匿名加工情報は作成しないということでしょうか。

A 利用ニーズの観点や全国的にも導入実績が少ないことから、現時点では作成する予定はない。

12月 定例会

令和4年11月30日～12月21日
(会期22日間)

議案を チェック!

議会でこんなことを
審査・審議しました

補正予算	5件
条例の制定	5件
条例の改正	7件
委員会提出	1件

くらし 金融機関における事務の見直し

督促手数料200円を廃止

指定金融機関及び収納代理金融機関において、令和5年度より督促手数料及び延滞金の確認事務が見直されることに伴い、市における督促手数料200円を廃止します。

【議案第74号 条例の改正】

Q 督促手数料が廃止されれば市税の収入がなくなるのではないかだが、昨年度はいくらぐらいあったのか。

A 昨年度の決算は、雑入として市税で約200万円、国民健康保険税で約100万円であった。

くらし マイナンバーカードの普及促進に向けて

コンビニ交付サービスの 手数料を減額

マイナンバーカードを利用し、コンビニ等で証明書等の発行申請する際の手数料が100円減額されます。

【議案第76号 条例の改正】

Q 市内のコンビニでは、市外の方でもサービスが利用できるのか。

A コンビニ交付サービスを実施している自治体の方であれば利用できる。

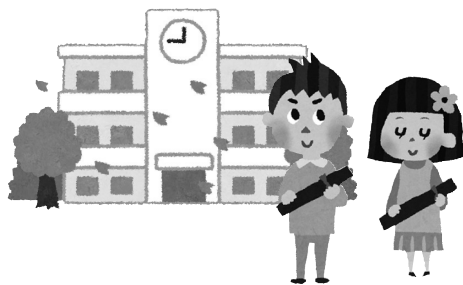


教育施設整備 卒業式・卒園式に向けた植栽管理

小中学校・幼稚園の植栽管理 委託料の予算を増額計上

3月に行われる卒業式・卒園式に向けて、市内の小中学校・幼稚園の植栽の剪定を行う委託料を当初予算で計上していたが、年度当初発注を予定していたシルバー人材センターの申出により委託ができなくなったことから、他の民間事業者からの見積もりを踏まえ予算を増額補正します。

【議案第77号 一般会計補正予算】



Q シルバー人材センターが委託を受けることができなくなった理由は。

A 剪定を行う人材不足である。

Q 今後、委託内容を精査し入札に支障のない形で金額等を示して進めていくとのことだが、どのように精査するのか。

A シルバー人材センターに依頼できるもの、民間事業者に依頼できるもの、今回は実施しないものに分け、精査したい。

Q 本来精査してから補正予算を提出するのではないか。

A 時間がない中での補正予算計上となった。現在精査しながら、実際の入札時には精査した内容で入札を行う。

議案第77号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第7号）に関する付帯決議

賛成多数
可決

委員会提出 予算執行において誠意ある対処を

総務委員会より、議案第77号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第7号）に関し、以下の付帯決議が提案され、質疑、討論の後、賛成多数で可決されました。

《要旨》

令和4年度瑞穂市一般会計補正予算（第7号）のうち、市内の小中学校及び中学校、幼稚園の植栽管理委託料、合わせて4,870万4千円の増額予算が計上されている。当初予算額の945万8千円に対して著しく金額が増額されており、執行部からの説明では、年度当初は、公益社団法人瑞穂市シルバー人材センターに発注する予定であったが、センターより委託業務ができないということで、時間的な余裕がない中、1者の業者から見積もりを取って予算計上させていただいたとの答弁であった。

今回の補正予算の提出までにはセンターの状況把握、他の業者との調整、及び学校等現場の状況などは十分精査できたと考える。

当該補正予算の予算執行に当たっては、市長には次のことについて誠意をもって対処していただくことを委員会として決議する。

- 1 当該小中学校及び幼稚園の植栽管理委託料の予算執行においては、執行前に必ず議会へ事前説明をしていただくこと。
- 1 市の予算執行においては、予算ありきでなく、経費など十分な事業の精査を行うことと、特に経常的な業務の予算執行においては前例踏襲とならないよう常に執行状況の把握、及び精査を実施していただくこと。

令和4年第4回定例会 議案の審議結果

議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果	新生クラブ					創緑会					立	み	共	無	議決月日				
		◎若井千尋	◎若園五朗	藤橋礼治	若園五朗	広瀬武雄	棚橋敏明	馬淵ひろし	◎広瀬守克	森清一	森健治						北川静男	若原達夫	藤橋直樹	◎松野藤四郎
議員委員会 議案第4号 議案第77号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算(第7号)に対する付帯決議	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第66号 瑞穂市個人情報保護法施行条例の制定について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第67号 瑞穂市個人情報保護審査会条例の制定について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第68号 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第69号 瑞穂市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第70号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第71号 瑞穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号等の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第72号 瑞穂市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第73号 瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第74号 瑞穂市税条例等の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第75号 瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第76号 瑞穂市手数料条例の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第77号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算(第7号)	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第78号 令和4年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第79号 令和4年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第4号)	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第80号 令和4年度瑞穂市下水道事業会計補正予算(第3号)	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第81号 瑞穂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21
議案第82号 令和4年度瑞穂市一般会計補正予算(第8号)	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥
立…立憲民主党、公…公明党、み…みずほ令和の会、共…日本共産党、無…無会派
議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。(議長 若井千尋)

会派代表者変更

新生クラブ

(変更前) 松野 貴志 → (変更後) 若園 五朗

届出日 令和4年11月30日



森市政1期4年間の総括は



市長

財政力をつけながら、市に必要であるインフラ整備、基盤整備に注力した1期であった



広瀬守克議員

Q 今後の瑞穂市のビジョンは。

A 私が持つ市のビジョンは誰もが健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせる健康都市みずほの実現である。「健康・安心」、「安全・快適」、「子育て・教育」、「産業・雇用」、「環境・農業」、「地域運営」、「人口減少・行財政改革」これら7つの柱による政策で、健康づくり、幸せファーストを進めていきたい。(市長)

Q 11月に行われた国・県との意見交換や要望活動の成果は。

A 過去2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、市長として大切な仕事である要望活動がオンラインであったり、中止となったりしていた。しかし、今年の11月は昨年、一昨年と比較すると、国との公共下水道事業の意見交換会や河川、道路の要望活動など、国や県へ多く要望に行くことができ、各事業の実施の必要性や支援の必要性を改めて理解していただ

けたものと感じている。(市長)

Q コロナウイルス感染症対策におけるワクチン接種・地域経済の循環の総括は。

A ワクチン接種については、未知のウイルスで慣れない部分もあったが、職員の丁寧な対応や高齢者タクシースの助成もあり、予約もスムーズで1回目、2回目は県内でも高い接種率とすることができた。地域経済の循環については、市民の方からは、プレミアム付商品券や飲食店のスタンプラリーがとても好評であった。また、事業者支援という点で、事業者の方からも好評であった。その他、キャッシュレス決済ポイント加算も人気で、長い列をつくっているお店もあると伺っている。(市長)



带状疱疹予防ワクチン接種の助成はするのか



健康福祉部長

市民の方などから問合せや要望が増えてきており、助成制度の創設を前向きに検討している



北川静男議員

Q 市内でワクチン接種を行っている医療機関はどのくらいあるか。

A 市内26医療機関に尋ねたところ、接種は18医療機関で実施されている。(健康福祉部長)

Q 県内の自治体ではどの程度助成しているのか。また、国・県が助成しないのはなぜか。

A 県内で带状疱疹ワクチンの接種助成を行っている自治体は現時点で4自治体ある。うち3自治体は生ワクチンに1回4千円、不活化ワクチンに1回1万円の助成を、残りの1自治体はワクチンの種類に関係なく1回4千円の助成をしている。また、国・県が助成しないのは、県の見解では、带状疱疹ワクチンなど任意接種については、疾病予防効果のほか費用対効果、副反応の頻度、副反応が起こった場合の補償などを含め、総合的に勘案する必要があるということであった。(健康福祉部長)

フレイル予防

Q 高齢者の一人暮らしは何世帯か。また、市の救済措置は。

A 65歳以上の独居世帯は1,560世帯程である。また、市は調理が困難な在宅の高齢者に対しダイニングサポートや配食サービスを実施している。これにより、栄養の改善、介護予防及び地域において自立した日常生活の支援を行うとともに、利用者の安否確認や健康観察を行っている。(健康福祉部長)

Q 健康寿命延伸プランの施策として、場所及び運動をする機会の提供が必要では。

A 当市は国と同様、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が必要であると考えており、関係各課の連携により、令和6年度からの事業開始に向け、取り組んでいる。(健康福祉部長)





企業誘致に向けた土地利用活用に関するアンケート2022の調査目的は



都市整備部長

前回調査から4年経過し、一部農地が事業用地に転用されるなどし、周辺農地の状況変化の確認のためである



杉原克巳議員

Q 利活用土地の調査地域とその選定根拠は。

A 十七条の工場等が集積している地域と、令和3年4月から農業振興地域整備計画変更の適合基準とした同地域に隣接する第3種農地の2区画が調査地域である。根拠は、企業は1ヘクタール以上の用地を求めることが多く、同面積要件を満たす市内の開発可能な農業振興地域は同地域である。（都市整備部長）



Q 商工農政観光課の現組織を見直す考えは。

A 組織改編は、現段階では未定である。現状、課内には、農政関連と企業誘致関連業務が内在するが、相互の情報を共有することで調整を図ることができ、バランスの取

れた業務が遂行できている。（総務部長）

Q 市長の今後の産業・インフラ整備の考えは。

A 企業誘致に影響する基盤整備として、穂積駅周辺の整備、公共下水道事業、そして一番は大野神戸インターに主要地方道岐阜・東南・大野線が直接つながることである。これは県が整備する犀川の橋も関係するので、議員の皆さんと一緒に県に要望していきたい。（市長）

Q 総務省統計局の経済センサス活動調査2011年から2019年までのデータにより第1次・第2次・第3次産業の認識と今後の支援策は。

A 第1次産業の基礎となる農地については、引き続き担い手の集約化を進め、生産性の向上、効率のよい農業経営体制の構築に取り組む。第2次産業は土地制約のなか条例を整備し、工業等設置奨励金制度を活用し振興を図る。（企画部長）



妊娠出産準備金10万円の支給はいつに



健康福祉部長

出産・子育て応援給付金事業は、令和5年2月開始を目標に準備を進めている



藤橋直樹議員

Q 妊娠出産準備金支給について、市の対応と方法は。

A 市の方針は、妊娠届出時に出産準備金として5万円の現金を支給する。また、出生届出時には面談により制度の趣旨を説明したうえで、出産・育児関連商品を購入できる商品券として、かきりん振興券5万円分を窓口にて支給する予定である。（健康福祉部長）

Q 対象者の範囲は。また、担当課はどこか。

A 令和4年4月から事業開始時点までの対象者にアンケートと申請書を併せて発送し、回収できた方から順次支給する。事業開始以降は、窓口で実施している面談に加え、アンケートと申請書の提出を依頼し、順次支給する。また、担当課は、子育て世代包括支援センターを設置している子ども支援課の予定である。（健康福祉部長）

Q 「伴走型支援」の相談体制は。

A 現在、母子手帳発行

時に保健師との面談を実施している。また、出産間近の妊婦に対しては必要に応じ助産師が直接電話をかけたたり自宅を訪問したりしている。さらに、出産後は出生面談で産婦の悩みや困り事などを聞き取り、必要な支援につなげている。事業開始後はこれらに加え、アンケートを実施し、希望者やアンケート結果から必要と思われるかたに面談を実施し、必要な支援につなげていく。（健康福祉部長）

Q シルバー人材センター「シルバー人材センター」に対する市のサポートのあり方は。

A シルバー人材センターは、自主・自立・共働、共助の理念のもと事業運営しており、高齢者が働くことを通じて社会に貢献し、生きがいを持つ機会を確保することを目的としており、市として継続して業務の発注などを行なっていく。（健康福祉部長）





他市と比較すると市職員の給料は低いのではないか



総務部長

人事院勧告に従って給与改定をしている。引き続き人事院勧告をベースとした改定を基本としていく



松野藤四郎議員

Q 特別職等の報酬を職責に応じ上げること、若者が市政参画を目指すことができるのでは。

A 先回の瑞穂市特別職報酬審議会からの答申を最大限尊重し、適切な取組を進めているが、県内21市や当市と同規模の類似団体の動向を注視し、社会情勢の変化や議員定数削減など大きな転換期に報酬審議会を開催して意見を聞いていきたい。

(総務部長)

保育施設の整備公共施設の管理

Q 県南庁舎の業務は今後本庁へ統合し、跡地とサンコーパレットパークを含めて市民サービスの一大拠点にしては。

A 県南庁舎は新庁舎建設に伴って機能を移転し、建物は用途を見直して周辺施設を集約する計画をしている。近隣に所在する西部複合センター及びサンコーパレットパークとも連携が可能な多世代交流施設へ用途を変更して活用することにより、施設総量の適正化推進と周辺一帯の市民

サービスの拠点地域になると考える。(総務部長)

Q 牛牧第1保育所を公私立連携型認定こども園として公募し、法人が決定したが、「ほづみの森こども園」との公募の相違点、また、支援を要する園児の受入れ体制は。

(教育委員会事務局長)

Q 保育所のない生津地区に公私立連携型を誘致予定だが、開園に向けての課題と開園の時期は。

A 令和8年4月、遅くとも令和9年4月に開園できるよう進めている。課題は建設候補地の取得で、条件を満たす場所の選定を進めている。(教育委員会事務局長)



人口減少対策の直面する瑞穂市のビジョンは



市長

誰もが健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせる健幸都市みずほの実現である



若原達夫議員

Q 若い世代の人口の増加対策は。

A ハード面では、サンコーパレットパーク、穂積駅周辺の整備、公共下水道事業を含む犀川グリーンインフラ事業の整備を行う。ソフト面では、子育て支援、保育・教育を充実させること、また結婚期の若者への支援を進めていき、交流人口、定住人口を増やしていきたい。(市長)

市内の公園の整備事業

Q 西ふれあい広場の整備計画は。

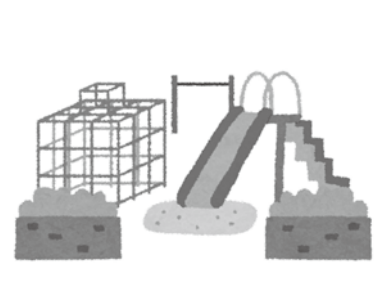
A 西ふれあい広場の状況確認を毎月1回定期的に行っており、昨年度は高木の剪定を行ったほか、ウォーキングコースの隆起部分の修繕を行った。球が切れている街灯については早急に対応したいと考えている。

今後、広場周辺の街灯を含め広場の再整備について、周辺地域への影響、広場の景観、防犯・安全等、さまざまな視点から検討をし、最小の経費で最大の効果が得られるようにしたい。

また、バスケットコート

Q 県南地区内の公園の整備計画は。

A 旧県南地区においては、今年度地方創生拠点の一つに位置付けられているサンコーパレットパークが開園し、ここを中心に各校区にふれあい広場が配置されているため、現在新たな公園整備計画はない。サンコーパレットパークを活用したにぎわいの創出に努めていきたいと考えている。(都市整備部長)





市制20周年イベント「瑞穂市清流長良川100kmウォーク」の今後の開催予定は



企画部長

来年度以降も瑞穂市を代表するイベントの1つとして開催していきたい



庄田昭人議員

Q 今回の100kmウォークのPR方法は。

A 沿線の市イベント開催の周知を行い、ポスターの掲示や広報紙へのチラシ挟み込みを依頼した。また当日は、パトロール車にはイベント名のマグネットを貼り、参加者にはゼッケンをつけてもらい、ウォーキングしていることを沿道の方々に理解してもらえようとした。さらには、国土交通省の協力のもと、国道156号線の交通情報案内板にはイベント名と参加者通過中注意の表示してもらった。

(企画部長)



豊かな水と緑あふれる美しいまちをつくります
Q ハリヨなどの自然保

護について、どのような考えや取り組みがあるのか。

A 昨年度は、岐阜協立大学の先生に本田地区の川や給食センターの池など市内4か所においてハリヨの生息調査をしてもらい、ハリヨの保護、生息環境の保全には、行政、地域住民、研究者が協力して取り組むことが必要との助言があった。今後、研究者の方の指導をいただきながら、地域住民の方の力を借りて保護・保全に努めていきたい。

(教育委員会事務局長)

Q ハリヨの保護については、自然を守る会だけでは長年蓄積した泥を取り除くなどの清掃作業は難しいのではないかと。市の支援策は。

A ハリヨ生息地の清掃活動等の際は、土砂積み込み重機や運搬用のダンプの申請をいただければ、運転手の手配や賃料等を市で負担する。

(都市整備部長)



第三次瑞穂市子どもの読書活動推進計画の根幹は



教育長

家読（うちどく）運動の啓発・推進と家庭での読書環境の整備、読書活動の小学校での充実と中学校での強化である



今木啓一郎議員

Q 「家族読書の日」を設定する目的と内容は。

A 県で定めている毎月第3日曜日の「家庭の日」において、家族でふれあいの一つとして家族読書に取り組んでほしいという願いがある。家族で図書館や書店に出かけて本を選んだり、家で同じ本を読んだり、同じ部屋で読書をしたり、自分が読んだ本について語り合うなど、読書を通じて家族でのふれあいの時間を持つことで、子供が読書をするきっかけになればと考えている。(教育長)

Q 幼児期のさらなる読み聞かせの機会を創出する目的で「パーソナル知育絵本」を導入しては。

A 現在、10か月児相談において読み聞かせと絵本をプレゼントする事業があり、プレゼントする

絵本をパーソナル知育絵本にするなど検討の余地はあると考えている。

(教育長)

シルバー人材センターへの委託事業

Q 人材不足を理由にシルバー人材センターが急遽学校施設の剪定等を辞退したが、それ以外の受託事業への影響は。

A シルバー人材センターへの予定委託業務の中で、学校施設等の剪定業務以外で、今年度支障を来した業務はない。令和5年度については、穂積駅前清掃等や社会体育施設等の防じん剤散布等支障を来す可能性が有る委託事業はある。

(健康福祉部長)

Q 公共比率が高い当市のシルバー人材センターへの今後の委託方針及び支援策は。

A シルバー人材センターと協議しながら、受託いただける範囲でお願いしたいと考えている。また、今後も積極的に会員確保など進めていきたい。(健康福祉部長)





新庁舎建設に向けて、市民の声を届けることができていないが



総務部長

新庁舎検討委員会は市民の方等で構成、市民アンケートやパブリックコメント等の実施を検討している



棚橋敏明議員

Q 物価高騰における維持管理等の影響は、また、今後の節約方法は。

A 影響は電気やガスがあるが、電気料金については増額補正を9月に行ったことや12月議会においても予算計上している。市税の歳入状況も不透明な状況にある。今後は、公共施設への太陽光発電設備の推進や照明器具のLED化等の高効率

Q 物価高騰における維持管理等の影響は、また、今後の節約方法は。

A 影響は電気やガスがあるが、電気料金については増額補正を9月に行ったことや12月議会においても予算計上している。市税の歳入状況も不透明な状況にある。今後は、公共施設への太陽光発電設備の推進や照明器具のLED化等の高効率



▲市役所穂積庁舎

(総務部長)

Q 市民は、新庁舎建設と穂積駅周辺整備と一帯と考えているケースが多いが、建設場所はどこに計画されているか。

A 新庁舎建設検討委員会において検討をしている段階である。

Q 危険な空き家が増えている傾向があると思うが、今後の対策は。

A 市では、空き家の所有者などから適正な管理や活用などの相談に職員が対応しているほか、相続など専門知識が必要な場合は、建築士や弁護士などで構成されるNPOと連携して、相談体制を強化し支援を図っている。(都市整備部長)

Q 歩道フラット化と植栽

Q 県道穂積停車場線の歩道について、フラット化にする考えは。

A 現在整備されていない箇所については、バリアフリー基本構想による特定道路とされていないため、地元住民の方の整備事業の同意が得られれば、特定道路への計画変更をし、県へ要望したいと考えている。(調整監)

Q 危険な空き家が増えている傾向があると思うが、今後の対策は。

A 市では、空き家の所有者などから適正な管理や活用などの相談に職員が対応しているほか、相続など専門知識が必要な場合は、建築士や弁護士などで構成されるNPOと連携して、相談体制を強化し支援を図っている。(都市整備部長)

Q 市民は、新庁舎建設と穂積駅周辺整備と一帯と考えているケースが多いが、建設場所はどこに計画されているか。

A 新庁舎建設検討委員会において検討をしている段階である。

(環境水道部長)



学校給食費の無償化は全国的に広がっているか



教育委員会事務局長

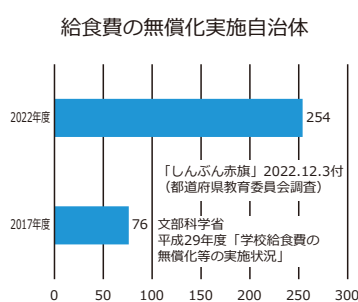
国が公表している平成29年度の調査では、全国の1,740自治体のうち、小中学校とも76自治体（4.4%）で実施している



関谷守彦議員

Q 市が後援した「ピースロード2022」の後援取消スロッド2022の主催団体に対する認識は。

A 世界平和統一家庭連合の関係団体との認識を持っている。(総務部長)



Q 瑞穂市でも給食費無償化を実施すべきではないか。

A 市では、物価高騰分を給食費の値上げで対応するのではなく、国からの臨時交付金を活用して賄い材料費にあてている。学校給食費を公費負担して無償化を行っている自治体もあるが、給食センターの管理費や施設費、人件費を考えると、現時点では保護者の方に一定の負担をいただく必要があると考えている。(教育委員会事務局長)

Q 八束田地域の4自治会から道路整備の要望が出ているが、対応は。

A 準備委員会に地元から要望書が提出されたことや事業地内において民間開発が進められている現状を含め、今後の対応についての報告をお願いしている。(都市整備部長)

Q 八束田地域の4自治会から道路整備の要望が出ているが、対応は。

A 準備委員会に地元から要望書が提出されたことや事業地内において民間開発が進められている現状を含め、今後の対応についての報告をお願いしている。(都市整備部長)

Q この行事への市の後援を取り消すべきではないか。

A 市の主催等に関する要綱に基づき、審査内容を厳格に適用して慎重に判断をしていきたいと考えている。(総務部長)

本田八束田周辺地区土地画整理事業

Q 事業の現状は。

A 平成23年度より事業の説明がされてきており、これまでに地元の事業の準備委員会から援助申請がされ、市では事業認可に向け、事業推進に当たってきた。しかし、事業計画による同意率は4割にとどまり、組合認可には至っていない。(都市整備部長)



学校給食での黙食指導の現状は



教育長

黙食を行っているが、音楽を流すなど和らいだ雰囲気を作る工夫を各学校でしている



馬淵ひろし議員

Q 文部科学省の通知に従って黙食を緩和することはできないか。

A 県教育委員会からは「飛沫を飛ばさないよう、大声での会話を控えるなどの対応をすること。ただし、飲食時の感染リスクが高い傾向にあることは変わりはなく、実態に応じて判断するよう」との通知があり、市の感染状況が増加傾向にあることから、今の対応を継続しながら検討する。

下水道事業の予算

Q 今後どのくらい建設コストが増加するか。

A 現段階では全体計画を試算することは困難だが、建築資材については鉄筋で85%増、コンクリート型枠合板が58%増など全ての資材が値上がりしており、下水処理場の基礎工事など既増加が見込まれるため、全体計画事業費は増額するものと考えている。

瑞穂市西部の都市計画
横屋地区の国道21号

(環境水道部長)



▲都市計画マスタープラン(南地域)

線沿線周辺地区の整備検討は。

A この地域は、計画している西部環状道路との結節点にもなるため、瑞穂市の西の玄関口としてポテンシャルの高い地域である。来年度より瑞穂市都市計画マスタープランを令和7年度改訂に向け業務を進める。

(都市整備部長)

Q 市道西部環状線の未整備区間の検討状況は。

A 安八町との行政界、長良川流域における総合的な治水対策プランで長期整備計画に位置付けられている宝江川の河川改修事業、東海道本線の立体交差と大きな問題が多く、事業費も考え関係機関との調整をしていく。

(都市整備部長)



市長は2期目の出馬を固めたが、その思いは



市長

全ての皆さんが健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせる瑞穂市、その機会を作るのは行政の役割と考える



広瀬武雄議員

二トリ進出に伴う道路事情

Q 本県縦貫道の混雑が今以上にひどくなると推測されるが、対策は。

A 小・中学校の通学路もあることから通過車両を減らす対策のお願いをしており、店内掲示等により来店経路の周知や適宜交通整理員の配置などの対応がされると聞いている。(都市整備部長)



穂積駅の無人化の可能性に対する市の対応策

Q 穂積駅が将来無人化されるかもしれないことに対する市の対策は。

A 駅員の常駐により地域の安全・安心が担保されるため無人化は避けなければいけないと考えており、有人の継続という姿勢を示していきたい。

(企画部長)

帯状疱疹ワクチンに関する助成
Q 帯状疱疹のワクチン接種費用の市の助成の考えは。

A 助成制度の創設に向け検討している。助成単価や対象者について近隣の他市町の動向を見ながら、総合的に助成制度の創設について考えている。(健康福祉部長)

各施設の節電対策

Q 瑞穂市の各施設に対する節電対策は。

A ソフト面では各部署に節電とウォームピズの徹底について再度周知した。ハード面に関しては、できる限り公共施設、防犯灯などのLED化や、空調機器などの更新時は節電型の機器を選定するなどの節電対策を進める。(総務部長)

A 教育委員会が所管する施設の職員への節電の徹底や施設利用者へ節電の協力をお願いするが、学校、保育所等では換気機器の使用や換気しながらの暖房によりやむを得ないところもある。(教育委員会事務局長)



東海環状自動車道アクセスルートの整備推進状況は



調整監

必要なものとの認識はあるが、現在進めている重里・森区間を優先すると県から聞いている



若園五朗議員

Q 犀川河川改修について、工事の進捗は。

A 十九条橋上流右岸側で一部用地を買収し、取水堰付近の河道掘削工事に着手している。左岸側については



▲犀川改修工事の現場

は用地取得のため測量が発注されたと聞いている。

(調整監)

Q 環境行政市の情報発信
南庁舎に設置する考えは。

A 南庁舎周辺は人口が密集しておらず、利用者が限定的と考えられるため現状での設置は難しいと考える。

(環境水道部長)

教育行政

Q 不登校に対してどのような対策があるか。

A 教育委員会では、教育支援センターに「アジサイスクール」を設置し、学校での生活に抵抗のある児童・生徒を受け入れる体制を整えてお

り、将来社会的に自立する力がつけられるようにしている。

(教育長)

Q 幼児のマイクロボス・自家用車送迎時の置き去り対策は。

A 「バス下車時における園児の確認」、「園児の出欠状況の確認」の現状を確認するとともに注意喚起を促している。安全管理を徹底するために送迎用バスの安全装置等の導入を検討中である。

(教育長)

Q 文化財の資料管理、常設展示についてどのような方策を考えているか。

A 郷土資料の常設展示は、図書館に代わる展示場所の広さと人員配置をクリアできる最適な場所の選定に努めている。文化財についてはデジタルアーカイブの取組が進みつつあり、今後検討していく。(教育委員会事務局長)

その他の質問

・森市長の再出馬・新庁舎建設の進捗状況・JR穂積駅周辺整備・教員不足解消



ふるさと納税の今年度末の基金積立残高とその使い道は



総務部長

約22億5,100万円と見込んでいる。寄附の際に選択していただいた使い道を原則としている



森 清一議員

Q ふるさと納税が好調な理由と新たな記念品をどのように探しているのか。

A 幅広い記念品や寄附者を飽きさせない工夫をしている。新たな記念品は新聞等での情報収集や職員の営業活動などを行っている。(企画部長)

Q ふるさと納税に対する市長の見解及び評価は。

A 好調であることが新聞等で取り上げられたため、さらに上積みできるのではないかと考えている。瑞穂市の場合、面積や事業者数、特産品などから、ふるさと納税額の約8億円という数字は職員が良くやってくれている誇れる数字と評価している。(市長)



JR穂積駅周辺整備とエキサイトサイドプレイス
JA跡地が「エキサ

イトサイドプレイス」と決定されたが、どんな意味合いがあるのか。

A 第1の場所は家庭、第2の場所は職場、第3のとびきり居心地のよい場所という意味を込めている。(企画部長)

Q JR穂積駅周辺整備について、市長はどのような見解か。

A エキサイトサイドプレイスに人が集まるようにしていきたいということで、新しい価値観などを取り入れながら活性化に向けて活用していきたい。(市長)

瑞穂市ウォーキングコースの安全確保

Q 瑞穂市ウォーキングコースが19コース設定されたが、堤防道路などの安全確保についてどう考えるか。

A コースとして指定された堤防道路の路肩除草工事の追加など、より一層の安全確保及び健康増進に努めたいと考えている。(都市整備部長)

視察研修レポート

各常任委員会では、市のさまざまな課題の解決に向けて、テーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。執行部からの説明の聴取等のほか、現地や先進地への視察も行っています。

今回は、11月から1月に行った視察研修について報告します。

産業建設委員会

○委員長 若園五朗
○副委員長 今木啓一郎

○委員 藤橋礼治
若井千尋
藤橋直樹
広瀬守克

テーマ「賑わいの創出について」

視察先 岐阜市役所

研修日 令和4年11月10日（木）

「ぎふ長良川鵜飼まちづくり計画」により賑わいを創出している岐阜市を行政視察しました。

岐阜市役所の職員からは、計画の概要、事業内容、住民との連携及び国や県の支援等についてスライドを交えて説明を受けました。

特に印象的であったのが、「アンドン夜市リバーサイド」というイベントで、長良川右岸遊歩道に雑貨店や飲食店を出し、また、栈敷ステージを特設し、バンド演奏や舞の披露を行うといったものでした。当市と同じ長良川という河川資源を共有し、朝市・夜市や水上アクティビティなどにより賑わいを創出している岐阜市の取組みから多くのことを学ぶことができました。



▲視察研修の様子（岐阜市役所にて）

テーマ「ごみの減量化について」

視察先 西濃環境整備組合 西濃環境保全センター
研修日 令和4年12月8日（木）

SDGsやリサイクルの観点から、事前に執行部による当市のごみの現状を把握するための勉強会（座学）を経て、当市から発生する一般廃棄物（可燃ごみ）を処理する施設である「西濃環境保全センター」を現地視察しました。施設の職員からは、西濃環境整備組合のありまし、施設概要及び当市からの搬出ごみの特徴などの説明を受けました。

その中で、現場の声として、

①ごみの水分を可能な限り減らしてほしい。
②ごみの中には有価物（スチール缶、アルミ缶、紙類）が混入している。「捨てればごみ、分ければ資源」をお願いしたい。

とありました。
また、課題として、

①焼却熱で発電する発電施設の設置の可否。
②集じん灰（焼却飛灰、不燃物）を保管する一般廃棄物最終処分場が手狭になっている。拡張か、もしくは県外施設へ搬出かを多方面から検討し、近い将来決定する必要がある。

ことなどを学びました。



▲視察研修の様子
（西濃環境保全センターにて）

文教厚生委員会

○委員長 森 健治
○副委員長 北川 静男

○委員 松野藤四郎
杉原克巳
馬淵ひろし
関谷守彦

テーマ「食育を通じた

感染症に強い体づくり」

視察先 市給食センター
研修日 令和4年12月9日(金)

当市の給食センターは、市内の小中学校、幼稚園と3歳未満児を除く保育園に、1日7千食近くの給食を提供しています。センターでは、地産地消の取り組みを生産者の方などと一緒になって進め、毎月「地産地消献立の日」を定めています。小中学校においては、アレルギー対応として、代替食を提供するというレベルの高い対応がされています。

また、栄養教諭が各学校を巡回し、食育の指導もしています。

現場からの声として、「安全安心な給食」のためにも、センターの設備の更新を適切な時期に行っていたらきたいとの要望が出されました。



▲給食センター内を視察

議案をチエック!

議案の審議結果

テーマ「人口増加地域における子育て政策について」

視察先 愛知県長久手市
研修日 令和5年1月25日(水)

長久手市と当市は、非常に似ているまちです。大都市に挟まれたベツトタウンで、人口規模、面積、子育て世代が多く移住定住しており、待機児童や放課後の子供の居場所など同じまちの課題を抱えています。

今回の視察では、当市では取り組んでいない「放課後子ども教室」や「ライフステージごとの子育て支援」について、里山体験ができる「平成こども塾」について視察しました。

以前から子供を預かることを目的とした「放課後児童クラブ」では、勉強を教えてくれない、体験やふるさと学習をやってほしい、といった保護者からの要望をいただいています。

「放課後子ども教室」ではその課題を解決できるため、当市に導入したいと感じました。

また、長久手市の人口増加は、名古屋市に近い部分から区画整理によって住宅地を開発し、市東部は開発せず、里山を残すまちづくりがされてきたことを学びました。計画的で戦略的なまちづくりの重要性を学び、当市に取り入れていきたいと思う充実した視察研修となりました。



▲「平成こども塾」についての視察研修

一般質問

視察研修レポート

議員研修

▼研修日 令和5年1月17日(火)
▼テーマ 最近の経済情勢等について

▼講師 岐阜財務事務所 所長 新垣 嘉樹氏

東海地域や岐阜県の経済状況を主に、瑞穂市の状況も盛り込んだ内容で、グラフ等を使った資料をもとに分かりやすく大変勉強になる講演でした。また、財務省・金融庁の地方業務である東海財務局の役割についても説明をいただきました。



朝日大学との意見交換会

総務委員会

- 委員長 庄田 昭人
- 副委員長 森 清一
- 委員 広瀬武雄
- 棚橋敏明
- 松野貴志
- 若原達夫

テーマ「防災について」

視察先 新潟県柏崎市
 研修日 令和5年1月19日(木)

柏崎市は、令和3年開庁の新庁舎3階に常設の災害対策本部会議室と災害対策室を集約配置し、国や県からの情報を基に迅速に対応できる体制になっています。平成19年の中越沖地震以後、防災意識が希薄化する中、地域の防災意識の維持向上を図るため、NPO法人地域活動サポートセンター柏崎に自主防災組織の防災活動に関する講師派遣を委託して、年間50回の防災出前講座が行われています。

さらに250人を超える防災士資格取得者に対し、NPO法人により「防災士フォローアップ研修」や「防災士交流会」等を実施し、防災士同士の顔が見える関係づくりを図っているとのことでした。



▲視察研修の様子（柏崎市役所にて）

テーマ「新庁舎と

穂積駅拠点化構想について」

視察先 新潟県長岡市（アオーレ長岡）
 研修日 令和5年1月20日(金)

アオーレ長岡（平成24年4月開庁）は、JR長岡駅前の中心市街地を活性化するため、市庁舎の移転・複合化を組み込んだ施設になっています。「市民協働・交流の拠点」をコンセプトに、行政や議会、市民利用等の各種機能を明確に区分せず、ナカドマ（屋根付き広場）を中心に意図的に混在させることで機能間の結びつきの強化を図っています。市役所行政業務サービスについては、身近な手続きをワンフロアに集約し、案内しやすいワンストップサービスとする総合窓口を構築しています。災害対策本部会議室は、信濃川氾濫時の浸水深4.5mを考慮して4階に配置され、様々な情報を総合的かつ同時に閲覧でき、的確・迅速な意思決定で災害に対応できる体制になっています。

今回の視察研修が、当市の新庁舎建設計画の一助になれば幸いです。



▲長岡市役所（アオーレ長岡）視察の様子

ようこそ瑞穂市へ

東京都 瑞穂町議会 行政視察

▼視察日
 令和4年11月16日(水)

防災協定を締結している東京都瑞穂町の議会（厚生文教委員会）が、「学力向上施策について」の視察研修のため、当市を訪問されました。

全国学力等調査で平均点を上回っていることやコミュニティスクールなど学力向上に関する施策について教育委員会から説明しました。

終始和やかな雰囲気の中、有意義な視察研修となったようです。



▲説明を受ける瑞穂町議会の方々

朝日大学との意見交換会

令和4年11月17日、議会基本条例にある「開かれた議会」を実現し、若い世代の声を瑞穂市のまちづくりに活かすため、朝日大学法学部生と議員の意見交換会を開催しました。

地方自治を学ぶ朝日大学法学部生のみなさんにはチームで事前に瑞穂市の現状と課題を研究し、「若者世代への支援」「コミュニティ活動への支援」「穂積駅周辺の活性化」をテーマに意見発表いただき、議員と意見交換をしました。



▲法学部生との意見交換(議場にて)



▲朝日大学法学部生と議員(議場にて)

「若者世代への支援」では、若者が就職を理由に市を離れている現状を踏まえ、通勤・通学費の補助制度の創設や地元企業を知る機会の充実が提案され、活発な意見交換がされました。

また、穂積駅に人が滞在する魅力が少ない現状を踏まえ、魅力的な駅周辺の環境整備、ネットを利用した魅力発信の強化が提案されました。

複数の議員が、意見交換会でいただいた意見を12月議会で一般質問として取り上げるなど有意義なものとなりました。

議会活動日誌

11月

- 1日 令和4年第3回瑞穂市議会臨時会
議員定数調査検討部会
- 8日 議会広報編集委員会
- 9日 中濃十市市議会議員研修会(本巣市)
- 10日 産業建設委員会行政視察(岐阜市)
- 11日 広聴・情報発信検討部会
- 16日 東京都瑞穂町議会から行政視察(学力向上施策)
- 17日 朝日大学との意見交換会
- 21日 研修・予算決算検討部会
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
議会基本条例推進特別委員会
- 30日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(初日)
会派別議案説明会

12月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(総括質疑)
研修・予算決算検討部会
- 8日 産業建設委員会・協議会
産業建設委員会行政視察(西濃環境整備組合 西濃環境保全センター)
- 9日 文教厚生委員会・協議会

- 文教厚生委員会行政視察(給食センター)
- 12日 総務委員会・協議会
- 14日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(一般質問)
議会運営委員会
- 15日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(一般質問)
- 16日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(一般質問)
- 21日 令和4年第4回瑞穂市議会定例会(最終日)
議会基本条例推進特別委員会
議会広報編集委員会
- 22日 もとす広域連合議会臨時会

1月

- 6日 議会運営委員会
全員協議会
- 11~12日 市町村議会議員研修
- 17日 議員研修会
- 18日 議会広報編集委員会
- 19~20日 総務委員会行政視察
(新潟県柏崎市・長岡市)
- 24日 もとす広域連合議会(議会運営委員会)
- 25日 文教厚生委員会行政視察(愛知県長久手市)
- 26日 広聴・情報発信検討部会
- 27日 もとす広域連合議会(議会運営委員会)
- 30日 総務委員会協議会

“にぎわう”みずほの玄関口・JR穂積駅

表紙の駅前イルミネーションやほづみ夜市、駅南金曜市など、にぎわい創出活動が行われている瑞穂市の玄関口・JR穂積駅周辺に新しい魅力を創造するため、駅周辺のまちづくりの指針となる基本的な整備方針とロードマップを定めた「瑞穂市」R穂積駅周辺整備基本計画」が策定されました。

今後、瑞穂市のにぎわい拠点のひとつとして、地域住民、地権者、利用者及び市民のみなさんのご理解とご協力をいただきながら、駅南口広場及び南口周辺は10年後を目標に、駅北口広場及び北口周辺は30年後を目標に、整備が進められます。

整備実施計画図（素案）イメージパース図 令和4年6月3日現在
※イメージ図のため、変更となる可能性があります。



にぎわい施設・広場「エキサイトサードプレイス」整備中！

JAぎふ穂積支店跡地の暫定的な土地活用として、一般車乗降場が整備され、一般車駐車場や、にぎわい施設・広場の整備が3月末の完成に向けて進められているところです。

来年度中には、チャレンジショップやキッチンカーなどが出店する予定です。



▲駅への送迎にご利用ください

令和5年第1回定例会日程（予定）

2月・3月

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
					本会議（初日・議案提案説明）	
26	27	28	3/1	2	3	4
					本会議（総括質疑・委員会付託）	
5	6	7	8	9	10	11
		産業建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会	委員会予備日	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問予備日）		本会議（最終日・委員長報告・質疑・討論・採決）	
19	20	21	22	23	24	25

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

編集委員からひとこと

「議会は、何をしているところ？」
「議員はどんな人？どんな仕事をしているの？」
といった様々な疑問をお持ちの方はいると思います。議会を身近に感じていただけるよう、昨年12月の議会よりYouTubeチャンネル『瑞穂市議会』で映像配信を本格的にスタートしました。みなさん、ご覧いただけましたか。リアルタイムはもちろん、議会終了後も会議録が出来上がるまでは本会議の様子を動画で視聴できますので、一度チェックしてみてください。

また、議会だよりでは、議会での審議内容や、各委員会の視察研修活動、各議員の一般質問等を分かりやすくお知らせできるよう努力していきますので、ぜひ今後ともご覧いただきご意見いただきたいと思います。

議会広報編集委員会

委員長 馬淵ひろし

副委員長 関谷 守彦

委員 棚橋 敏明

委員 藤橋 直樹